

- 1、 イラク戦争とは・・・
 - 2、 静かに想像してみてください。
 - 3、 「お父さん、泣かないで、私たちは天国で鳥になりました」小さな墓標の裏に書かれたその言葉は、アリ・サクバンの三人の子どもたちが埋葬されるときに、それを手伝ってくれた人たちがそと墓標の裏に書いた文字だった。
 - 4、 二〇〇三年四月十日、バグダッドへの空爆で三人の子どもを一度に失ったアリ・サクバンは、その日もいつもと同じ朝を迎えていた。いつもと同じ朝の風景になるはずだった。しかし、朝食の準備をしている最中、突然、空からおそった爆撃・爆音とともに、彼の周囲は一変する。
 - 5、 じっと想像してみてください。
 - 6、 「おはようお父さん」と、さっき会話を交わしたばかりの子どもたちが自宅の瓦礫の中に埋まり、必死で彼らを探す父親の姿を。
 - 7、 脳みそが出たままの五歳の娘を抱きかかえて、銃声が鳴り響くバグダッドの街中を、救急車に乗って、三つの病院を回らなければならなかった父親の光景を。
 - 8、 やっとたどり着いた病院で、生死をさまよう娘の手を取り、
- 1、 所谓“伊拉克战争”……到底是怎么一回事？
 - 2、 请诸位好好地想想看。
 - 3、 “爸爸，您别哭了，我们在天堂变成自由飞翔的小鸟了。”写在小小墓碑背面上的这句话是在阿理·萨克邦的三个孩子下葬的时候，帮助埋葬的人们悄悄地写上的。
 - 4、 二〇〇三年四月十日，在巴格达遭受空袭的时候，一下子失掉了三个孩子的阿理·萨克邦那天也跟往常一样迎接了早晨。那天也应该是同样的早晨。可是正在预备早饭的时候，随着突如其来来的轰炸声，周围骤然变成了地狱了。
 - 5、 请诸位细心地想想看。
 - 6、 “爸爸，您早哇！”刚才还在这样交谈的孩子们刹那间竟会都埋在自家的砖头瓦块下，而作为父亲的拼命地寻找他们的那副形象。
 - 7、 抱着脑腔崩裂的五岁的女儿在枪声响彻的巴格达的大街上，乘着救护车不得不跑了三个医院的作为父亲的情景。
 - 8、 好容易找到的医院里，握着生死不明的女儿的手，

彼が着ていた真っ白なシャツが、真っ赤な血で染まっていく瞬間を。

父亲身穿的雪白的衬衫染上了鲜红的血液的那一瞬间。

- 9、「みんな鳥になって天国で飛んでいる」と、
生き残ったただ一人の長女に、いまも話す父親の無念さを。
- 9、“他们变成了小鸟，在天堂上飞翔呢！”
对着只有一个幸存的大女儿诉说的作为父亲的那种无可奈何的形象。
- 10、「イラク戦争」で殺されていったすべての人たちの死の前に、
静かに、じっと問いかけてほしい。
- 10、面对伊拉克战争中丧生的人们，请静悄悄地问一下。
- 11、「いのちの取引」って、できるんだろうか。
- 11、“拿生命作交易？” 有这样的事吗？
- 12、たったひとつのいのちの重みをほかのいのちと比べたり、
量ったりすることはできるんだろうか。
- 12、每个人都是只有一条性命，你能够比较谁的性命轻谁的性命重吗？
- 13、だれかのいのちを救うために、だれかの別のいのちを犠牲にすることはできるんだろうか。
- 13、可以为了救助某人的性命而牺牲别人的性命吗？
- 14、国家のために、いのちを投げ出す覚悟を誰かに命令することはできるんだろうか。
- 14、只说是为了国家你就能够命令某人 必得下定有舍命的决心吗？
- 15、戦争によって、だれかの、ひとつのいのちが奪われることを認めていいのだろうか。
- 15、你认为可以由于战争夺去某人唯一的生命吗？
- 16、空爆や爆弾や銃撃がいのちを奪うことはあっても、いのちを生かすことってあるのだろうか。
- 16、尽管空袭、轰炸、射击可以夺去生命，那么有没有过使生命死而复活的事呢？
- 17、もういちど、いまだからこそ、静かにじっと考えてみる。
- 17、大难临头，请再一次，认真地想想看，

18、「イラク戦争」とは何なのか……。

18、所谓伊拉克战争到底是怎么回事啊？

2005年8月2日非戦を選ぶ演劇人の会「あきらめない、夏 2005」より抜粋 構成 篠原久美子

【参考・引用文献】

「リトルバーズ」綿井健陽 晶文社